

1. 科目名 (単位数)	保育カリキュラム論／保育・教育課程論 (2単位)	3. 科目番号	SSOT3404
2. 授業担当教員	戸次 佳子		SCOT3404
4. 授業形態	講義・演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	<p>保育所保育、幼稚園教育の目的と方法の基本を確認し、保育課程・教育課程の意義を示し、その編成の仕方を実際の子どもの発達、生活に照らしながら理解できるようにする。保育は子どもの自発的な興味関心や個人差に応じて実践することを踏まえ、保育・教育課程と指導計画との質的差異を理解し、保育者の教育的意図を子どもの主体的な生活の中にどう反映したらよいか具体的に分かるように、実例によって示す。さらに、実践においては子どもの実態に対応しながら計画の修正をどのようにするか、一日の保育の評価反省をどうするかを扱いながら、保育における計画性と偶発性の双方の意味の理解を深める。ボトムアップによる計画作成の方法を長期指導計画と短期指導計画との関連から理解できるようにする。以上を通して、保育所保育指針、幼稚園教育要領等に示されている保育課程・教育課程、指導計画の考え方を正しく理解し、実践に結びつける力を養う。</p>		
8. 学習目標	<p>1 カリキュラムについての基礎的理解ができるようになる。 2 保育における計画—実践—評価（反省）の関係を理解できるようになる。 3 保育課程、教育課程と指導計画との関係、および長期指導計画と短期指導計画の関係を理解し、実践に結びつけることができるようになる。 4 長期指導計画、短期指導計画の立て方が分かり、一日の指導計画を作成する。 5 保育実践の反省の仕方がわかり、計画の修正への過程を理解できるようになる。 6 子どもの発達の把握と指導要録、保育児童要録の意義と書き方を理解できるようになる。</p>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>毎回の授業内容を復習しておくこと。 レポート課題は、授業の中で指示します。</p>		
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】 資料配布 【参考書】 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規。 東京福祉大学編『教職科目要説（初等教育編）』ミネルヴァ書房。 関口はつ江編著『保育の基本を培う保育原理』萌文書林。 幼稚園教育要領、幼稚園教育要領解（平成 29 年 3 月告示 文部科学省） 幼保連携型認定こども園教育・保育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 （平成 29 年 3 月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省）</p>		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	<p>○成績評価の規準 1 保育、教育課程の目的内容及び、保育計画、指導計画の必要性を理解する。 2 長期の指導計画、短期の指導計画の作成法と両者の関係を理解する。 3 保育所、幼稚園の園行事や日常の指導計画の手続きを理解することができる。 4 実際に短期指導計画を作成できる。 ○評定の方法 授業への参加度 30%、小レポート・中間課題 30%、期末レポート課題 40%として総合的に判断する。</p>		
12. 受講生への メッセージ	<p>平成 29 年に改定された幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領では、カリキュラム・マネジメントの重要性が示されました。この授業を通して、カリキュラムについての考え方と具体的な実践についてしっかり学んでください。保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領を必ず携帯して下さい。</p>		
13. オフィスアワー	<p>別途通知します。</p>		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	保育・教育におけるカリキュラムの必要性	事前学習	保育所保育指針・幼稚園教育要領の教育課程に関連するところを読んでおく。
		事後学習	保育・教育におけるカリキュラムの必要性についてまとめる。
第 2 回	保育所保育指針・幼稚園教育要領の変遷と保育・教育課程	事前学習	多様なカリキュラムの考え方があることについて資料で予習する。
		事後学習	教育要領、保育指針と教育課程との関連を理解する。
第 3 回	カリキュラム・マネジメントについて	事前学習	カリキュラム・マネジメントについてテキストの該当部分を読んでおく。
		事後学習	カリキュラム・マネジメントについて理解しまとめる。
第 4 回	保育理念・保育目標・保育方針について	事前学習	実習園の保育理念・保育目標・保育方針について調べる。
		事後学習	保育理念・保育目標・保育方針と実際の保育との関連について整理する。
第 5 回	全体的な計画と指導計画の作成	事前学習	全体的な計画についてテキストの該当部分を読んでおく。
		事後学習	全体的な計画と指導計画の作成について整理する。
第 6 回	長期指導計画の作成（年間計画と月案）	事前学習	保育・教育課程と長期指導計画との違いについて考える。
		事後学習	長期計画を作成する。

第7回	長期指導計画から短期指導計画の作成（週案）	事前学習	長期計画と短期計画の違いについて考える。
		事後学習	週案を作成する。
第8回	短期指導計画の展開（週案から日案へ）	事前学習	日案の立て方について、テキストの該当部分を読んでおく。
		事後学習	日案を作成する。
第9回	指導案作成例の発表・討論(1)	事前学習	日案をもとに模擬保育の準備をする。
		事後学習	指導案を作成する。
第10回	指導案作成例の発表・討論(2)	事前学習	指導案を作成し発表の準備をする。
		事後学習	発表・討論を通して学んだことから指導案を修正する。
第11回	保育の記録と評価	事前学習	記録、反省、計画の関連についてテキストの該当部分を読んでおく。
		事後学習	様々な保育の記録について整理する。
第12回	カリキュラムの振り返りと幼稚園幼児指導要録、保育所児童保育要録の意義と書き方	事前学習	幼稚園幼児指導要録、保育所児童保育要録についてテキストの該当部分を読んでおく。
		事後学習	幼稚園幼児指導要録、保育所児童保育要録の意義について理解する。
第13回	幼小連携について	事前学習	幼小連携について考える。
		事後学習	幼小連携を意識した指導案を作成する。
第14回	幼児期の終わりまでに育って欲しい姿とカリキュラムとの関連	事前学習	幼児期の終わりまでに育って欲しい姿とカリキュラムとの関連について考える。
		事後学習	幼児期の終わりまでに育って欲しい姿とカリキュラムとの関連について自分の考えをまとめる。
第15回	まとめ（保育における計画と実践、幼小連携等からのカリキュラム・マネジメントの重要性の確認）	事前学習	カリキュラム・マネジメントの重要性について考える。
		事後学習	カリキュラム・マネジメントの重要性についてまとめる。